

PHP新書「地震予報」読者の皆様へ No.1778長期継続大型地震推定前兆 原稿校了後の前兆変化についての続報

続報 No.291

2020.11/23 (月曜) 17:00 発表

ハケ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254

No.1778 長期継続前兆 続報 11月23日±前兆変動終息無し 変動変化の認識誤認 最も早い場合の発生 03月03日±の可能性で検討中 12月15日±終息あるか注目

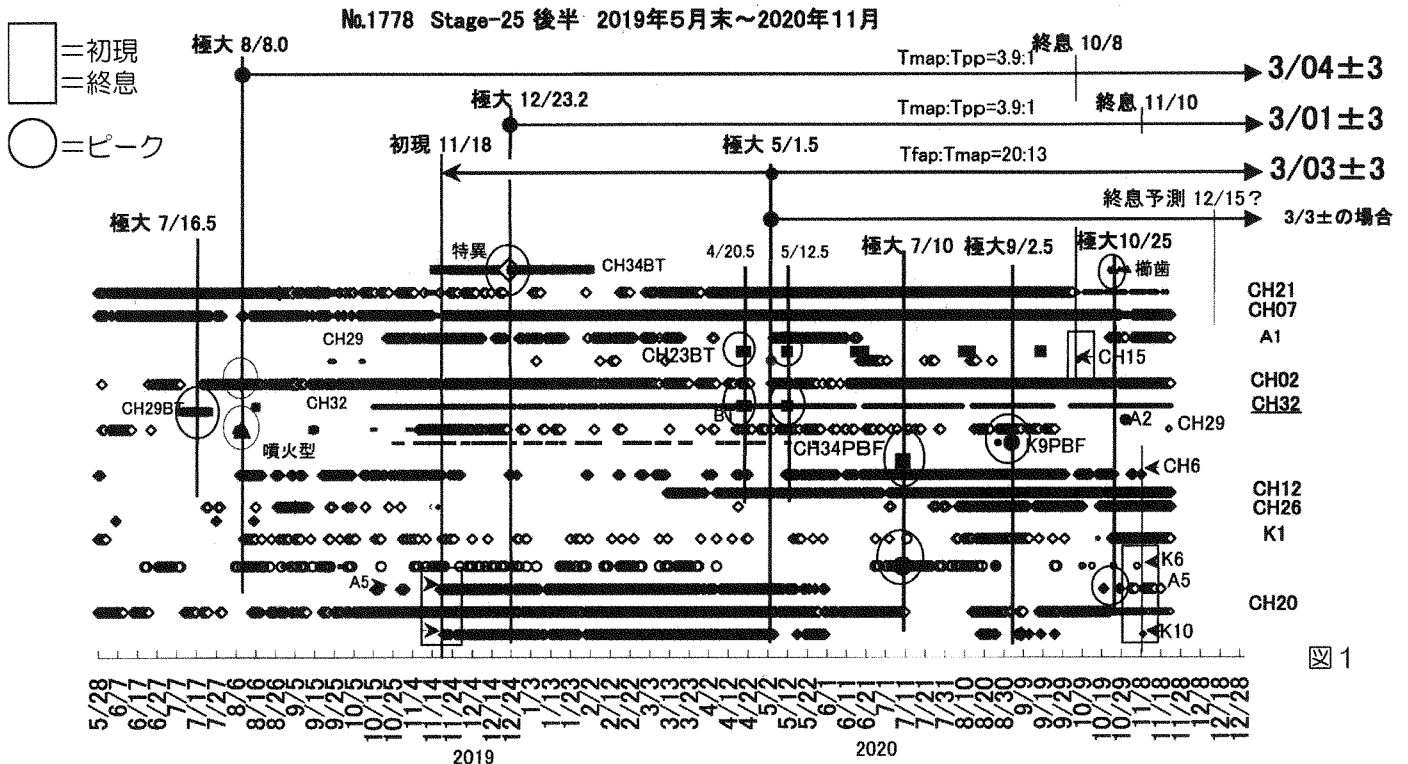


図1

No.1778 長期継続前兆変動についての続報です。前続報で、11月23日±に前兆変動終息が観測された場合は12月03日±発生の可能性が考えられることを報告させて頂きました。しかし、本日23日午後段階でも継続中の前兆変動は終息せず、12月03日±発生の可能性は否定されました。従いまして現在の前兆変動変化関係の認識が誤っていることが確実です。大変申し訳ございません。あらためて本日までの前兆変化の関係を見直し、検討しました。その結果、最も早い場合で来年3月3日±発生の可能性も考えられます。但し、この認識が仮に正しい場合は、本年5/1極大に対する前兆変動の終息が、12月15日±に観測される可能性が経験則より推定されます。これが観測されるか注目です。

その後の極大もあるため、明確な前兆変動終息が観測されるか疑問はありますが、今後の観測で確認し、続報でご報告させて頂きます。

少なくとも来年3月以前に対応地震が発生する可能性だけは否定できます。

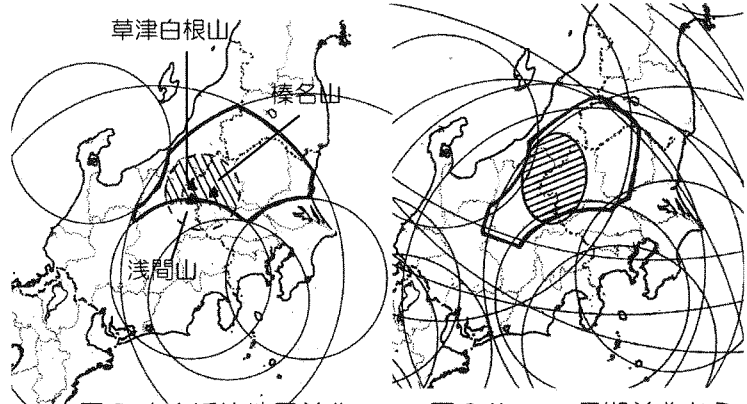


図2 火山近傍地震前兆変動から推定される領域
図3 No.1778長期前兆から推定される領域

- 推定領域：図2・3の斜線域の可能性（太線内は大枠推定）
 - 推定規模：M7.8±0.5
 - 推定時期：現状は2021年03月03日±3が考えやすいが12月15日±に前兆変動終息無い場合は再考予定
 - 浅い地殻地震
 - 午前09：30±1.5hまたは17：00±3発生の可能性有
- 根拠等詳細は続報No.287の2頁以降を参照下さい